

ほっかい新報

2012年 週刊 月3回発行
(第1・2・3日曜日)

8月12日(第1881号)

発行所 ほっかい新報社
060-0806 札幌市北区北6条西7丁目
電話 011(726)4858
北洋銀行(普)0576770
Eメール:hokkaisinpoo@gmail.com
定 価 月ぎめ 230円 1部80円(〒120円)
年ぎめ 2,760円(〒1,440円)

衆議院の比例議席回復を

全選挙区で決定、闘う布陣固まる

小選挙区 3区 森 つねと(英士)



日本共産党北海道委員会は8月6日に道政記者クラブで記者会見し、森 英士(つねと)氏13区政策委員長を次期衆議院選挙小選挙区3区候補者に決めたと発表しました。これで道内小選挙区全候補者が決まりました。記者会見には、池田博3区本部長と川部竜二副本部長が同席しました。

今度の総選挙で小選挙区3区から立候補することを決意しました日本共産党の森つねとです。どうぞよろしくお願ひいたします。

立候補の要請を受けた時、身震いする思いがしました。国民の代表として、立候補することの重さを実感したからです。

青山慶三党道委員会書記長は「民主党に「裏切られた」、民主党でもない、自民党でもない新しい政治の流れを求め、国民的な模索の中での選挙です。この間、TPP問題、消費税増税反対などのたたかいで、全道の農協や商工団体、中小企業団体などとの懇談や共同をすすめてきました。原発ゼロの運動では、

広範な市民層も含めた運動がひろがっています。これらの共同のたたかいを強め、多くの国民が反対している「消費税増税、TPP参加、原発再稼働、オスプレイの配備」に暴走する「アメリカいいなり、財界の利益最優先」という「二つの害悪」を正し、北海道の衆議院の議席めざす」と述べました。

森つねと(英士) 経歴
1978年 札幌市生れ
90年 札幌市立東川小卒業
93年 札幌市立北都中卒業
96年 道立北広島西高卒業
2000年 北海道東海大卒業
1996年 日本共産党に入党
99年 民青道委員会常任委員
2000年 共同児童保育所指導員
01年 党道委員会青学部勤務
10年 「しんぶん赤旗」記者
12年 3区政策委員長

一つは、国民一人ひとりの命と安全、暮らしを最優先する政治の実現です。なによりも、原発からの撤退を決断し、自然エネルギーの急速な普及をはかります。昨年、福島県から自主避難してきた、ある家族から子どもを守るために、やむなく札幌に避難してきたそうです。その母親は私にいました。「原発事故で失うのは、雇用であり、ふるさとして、国民の思いを代弁する責任を」の日本

あり、人間関係です。札幌の人たちに同じ思いをしてほしくない。原発問題を考える時、中心になくはならないのは、原発事故の被災者ではないでしょうか。「原発ゼロ」の日本を願うすべての人々と手を携え、日本から原発がなくなる日まで、力を尽くすことを表明します。消費増税は、暮らしと経済を壊し、貧困と格差を広げるとともに、財政を破綻に導くものです。消費税にきっぱり反対する

34歳・若さ生かして、青年が社会を動かすとき 国民の苦難をのぞき、新時代の扉をひらこう

新しい社会が生まれるとき、いつもその中心に若者がいたことを、歴史は物語っています。政治を変えようと立ち上がった私と同世代の若者、いまの政治を憂い、新しい政治を模索するすべてのみなさんの声に耳を傾け、歴史を前に進めるために奮闘することをお約束して、私の立候補にあたっての決意表明とさせていただきます。

得を増やす方向での経済改革、消費増税に頼らず社会保障を拡充する道を堂々と掲げます。道内を歩き、自然と格闘しながら日々、農林漁業を支える人々取材してきました。「TPPに参加すれば、農業はだめになる」と口をそろえています。TPPへの参加は、北海道の基幹産業である一次産業・農業を破壊し、食の安全や地域経済に決定的な打撃を与えてはならず、日本の安全保障を危うくするものです。国を守るために、立場は関係ありません。「オール北海道」で取り組まれているTPP反対運動と固く結び付き、断固反対を貫きます。新しい国づくりへ力をあわせたい

新しい社会が生まれるとき、いつもその中心に若者がいたことを、歴史は物語っています。政治を変えようと立ち上がった私と同世代の若者、いまの政治を憂い、新しい政治を模索するすべてのみなさんの声に耳を傾け、歴史を前に進めるために奮闘することをお約束して、私の立候補にあたっての決意表明とさせていただきます。

北海道から議席確保めざす候補者

1区 政策委員長 野呂田博之	2区 福祉政策委員長 太田 秀子	3区 政策委員長 はたやま和也	4区 国政政策委員長 菊地よう子
5区 国政政策委員長 鈴木 龍次	6区 国政相談室長 おぎう和敏	7区 国政政策委員長 佐々木りょう子	8区 函館地区委員長 高橋 佳大
9区 国政事務所長 花井やす子	10区 政策委員長 木村けんじ	11区 十勝国政事務所長 渡辺ゆかり	12区 政策委員長 菅原まこと

国土交通省の乗合バスの標準運送約款が7月31日改定され、精神障害者にも運賃割引が適用されることになった。▼運送約款とは、鉄道や航空機、バス、タクシー、トラックなどの自動車、船舶などの運送事業者と乗客・荷主との間で定める契約のこと▼道の資料によると、身体と知的障害者は、JRとバス運賃、高速道路料金金の50%、タクシーも10%が割引に。航空運賃は会社、路線によって異なる。精神障害者には、一部のバス、タクシー会社の独自割引に頼っている▼道精神障害者回復者クラブ連合会(道回連)など当事者団体は、06年以降毎年、道に対して精神障害者への運賃割引適用を求める要請書を提出。09年には約4千人分の署名を添えた▼要請を受けて道は、道バス協会やJR北海道、航空各社、国にも要請。道議会も10年、請願を全会一致で可決、国に意見書を提出▼日本共産党も長年、後押ししてきた。大橋晃道議(当時)は1989年、「内部障害者と精神障害者の割引制度」の実現を要求。花岡ユリ子道議(同)は10年、「道内41市町村がバス等の運賃助成をしている、道として助成する」よう求めた。高橋ちづ子衆院議員は08年、「3障害は同じ扱いをすべき」と質問。当事者団体の運動が、政治と行政を動かした。

12・8・6



12.7.29大通り

7月29日、民青同盟北海道委員会が札幌市の大通公園で、ヒロシマ・ナガサキの惨禍を繰り返さぬことを祈り、世界から核兵器を廃絶するための宣伝行動に取り組みました。

宣伝では「核兵器全面

青年の力で、核兵器廃絶を

禁止のアピール」署名への協力と、原水禁世界大会に届けるための折鶴を折ってもらいました。ハンドマイクで呼びかける、ベビーカーを押しているお母さんたちや、買い物帰りの若者たちが、「戦争をなくしてほしい」と話しながら署名や折鶴を折る(写真)のに協力してくれました。

その後、原水禁世界大会に参加する青年との交流会を行い、DVD「人間をかえせ」の視聴と感想を交流しました。交流会では「真実を知った自分達が後世に伝えていくことが大事であり、義務だと思いました」「初め

ての原水禁をがんばろう」と思いました。話をしっかりと聞いて帰ってきた時に周りの人に伝えようと思います」「核兵器廃絶に日本が積極的になっていないのも、原発が次々に作られてきた背景にも、日米安保条約が関わっていると最近学び、安保条約についてしっかりと考えていかないと、不安や決意を話し合いました。

企画を主催した民青道委員会の子部部長委員長の山崎郁夫委員長は「少ない人数でも核兵器廃絶にむけて思いを出し合える場をつくるのが大事です。全道でこうした取り組みをしていきたい」と語っています。(山崎航平)

精神障害者に一日も早く運賃割引の適用を

保健福祉委員会

真下紀子道議



委員会後真下道議と懇談する江刺、細川両氏

道議会保健福祉委員会が7日、開かれ、真下紀子・日本共産党道議は、「バス運賃割引制度に精神障害の方々を加わったことは、当事者団体の粘り強い運動の成果」とのべ、道にいつそうの努力を求めました。

真下道議は、レセプト(医療費請求事務)データにもとづき、精神疾患患者が広域で通院している状況を示しました。21の二次医療圏のうち、7つの医療圏では、精神疾

患者者すべて(100%)が札幌や旭川(上川中部)、函館(南渡島)など他の医療圏に通院しています。真下道議は、「根室医療圏の精神疾患患者さんは100%、釧路に約2時間かけて通院している」と

【解説】標準運送約款の7月改定はバス事業者に割引制度の実施義務を課すものではありませんが、運賃改定に国(地方運輸局)の認可を必要とするバス事業者にとり、乗客との間で守るべきルール(約款)に割引制度が盛り込まれた意義は大きいものがあります。

道内の民間バス事業者40

白川賢一・道保健福祉部長は、JRやタクシードが筆頭株主の北海道エアシステム(HAC)についても要請し、精神障害者への運賃割引制度が「早期に実現されるよう最大限努力する」と答えました。

委員会には、札幌精神障害者回復者クラブ連合会(札幌回連)の会長・細

社のうち、これまで12社が精神障害者の割引制度を独自に実施していきませんが、道は「改定」を受けて、未実施の28事業者に割引制度の導入を要請し、精神障害者の割引制度がない鉄道や航空機など他の公共交通機関にたいしても強く働きかけていくという方針にも、そのことがあらわれていま

川潮氏や視覚障害者の江刺誠一さん車イスの障害者らが傍聴しました。

▼運動を強めたい▲江刺誠一さんは「真下さんの質問はよかったです。道が動いてくれると答弁がありました。国にむけた運動を積み重ねてきたい」と語っています。

運賃割引を求めて運動を続けてきた関係団体も、引き続き運動を強化する予定です。また、運賃割引がある身体障害者や知的障害者についても、JRや私鉄各社では、本人が単独で乗車する場合の割引が片道10キロ以上に制限されるなど、改善されるべき課題は数多く残されています。

これまでのように事業者

の自主性に任せていたので、割引制度や改善の実施は遅れるばかりです。障害者自立支援法は問題が多い法律ですが、理念の一つに、障害の種類(身体障害・知的障害・精神障害)の一元化という、障害者団体が要望してきた前進も合わせもっています。

かつて政府は、身体障害者手帳の交付を受けている

の自主性に任せていたので、割引制度や改善の実施は遅れるばかりです。障害者自立支援法は問題が多い法律ですが、理念の一つに、障害の種類(身体障害・知的障害・精神障害)の一元化という、障害者団体が要望してきた前進も合わせもっています。

かつて政府は、身体障害者手帳の交付を受けている

たことが大きい。精神障害者にも一日も早く割引が実施されるように運動を強めたい。今日の内容を8月21日に開かれる「精神障害者にも、身体・知的障害者と同様に『運賃割引制度』適用を求め実行委員会」で報告したい」と語っています。

障害者へのバス運賃の割引を、都道府県に再度通知厚生省社会・児童局長連名通「提言」外交「ジョン」小池晃日本共産党政策委員長／0155-247679

道合唱うたごえ喫茶 19日(日)14時〜札幌厚別区民センター1F／08000円／011-811-9889

北大アイヌ先住民センター講演会 22日(火)18時〜北大W棟203号室

「現代社会における貧困と社会的排除」先住民研究との接点」阿部彰・国立社会保障・人口問題研究所部長 011-706-2859

原発連の学習講演会 22日(火)18時〜札幌エルプラザ2階研修室(北8西3) 「原発の問題点と自然エネルギー」水島能裕・元北電社員／03000円／011-815-8181

道労連大会の会場を後に、急いで飛行機に乗り別海町へ―実行委員会のみなさんの奮闘で今年で48回目を迎えた、別海町の矢白別平和盆踊りに参加しました。

初参加は、釧路で合唱団アンソコロのメンバーだった13年前です。車を運転しながら「こんな奥地まで行くの?」との思いも昔、誰もが自分のペースで人間らしくいられる「居場所」としての平和盆踊りは、今年も変わらず自由で、あたたかく、元気もみなぎるもの

本州や沖縄からの参加・ゲストもある開会式で心一つになり、闇夜に松平晃さんのトランペットが高らかに響き、それ

第48回 矢白別平和盆踊り

今年も自由で、あたたかく元気みなぎる

お手製ハッピはもちろんだ、「怒 発電中」との張り紙付き太陽光パネルもどきを背負って踊ったり、かついでいた模擬オースプレイ神輿が崩れかか

防衛省は、矢白別での米軍の演習が続けられることも「日米軍事同盟」だからと断言している。しかし、蒸し暑い時も、急な土砂降りの時も、忘れないぐらいの満天の星空に目を奪われる時も、粘り強く平和を求めて取り組んできた矢白別の力は、こんなアメリカ力いなりを必ず打ち破る、そんな確信を強めて、会場を後にしました。(はたやま和也)

訂正・剪剪 一面菊池よう子を菊池よう子に、2面交付額賞の表の単位、百円を千円に訂正しておわします。

北海道詩人会議 第16回詩のピースウェーブ 26日(日)14時〜道高教組4階大会議室／05000円／0126-25-1016

「社会保障・税一体改革と地域医療」長友薫輝・三重短大准教授／05000円／011-758-4596

押部俊広・榎田菊治郎陶芸2人展 新十津川 10月20日(土)〜11月18日(小)なギャラリー絵本館(新十津川・ふるさと公園西) 0125-76-3185

菅間慧一銅版画展 新十津川 20日(内)〜10月18日(小)なギャラリー絵本館(新十津川・ふるさと公園西) 0125-76-3185

北海道社会保障学校in旭川 30日(日)10時〜旭川ときわ市民ホール(5条通4) 記念講演「映像ジャーナリストが見た日本の貧困」水島宏明・法政大教授 特別報告:水島能裕・元北電職員・原発ゼロをめざす旭川連絡会代表幹事/分科会①相談員講座、②自己責任を考える、③国保・後期高齢者医療、④障害者福祉／015000円／011-758-2648

日井連第55回人権擁護大会 プレシンポジウム 9月1日(土)13時30分〜札幌国際ビルホール(北4西4) 「どうなる どうする 北海道の教育」子どもの学習権と教育の自由を、学校現場と憲法から考える。 011-281-2428

平和のうたごえ喫茶 1日(土)13時30分〜札幌清田区民2F／05000円／011-884-2104

後藤純男美術館開館15周年 記念健康づくり講演会 15日(土)18時〜上富良野町社会教育総合センター 「アトで生き生き〜10歳からのメッセージ」日野原重明・聖路加国際記念講演病院理事長/要申込0167-45-6181 (月)金10時〜17時

お知らせ

治維法蘭西同盟 全国統一宣伝行動 8月15日(日)12時〜30分札幌三越前(南1西3) 011-737-6577

8・15反戦街頭宣伝行動 15日(日)11時15分〜45分札幌パルコ前/さっぽろ平和行動実行委員会011-241-0956

政策学習講演会―十勝 18日(土)18時30分〜とかち館「提言」外交「ジョン」小池晃日本共産党政策委員長／0155-247679

道合唱うたごえ喫茶 19日(日)14時〜札幌厚別区民センター1F／08000円／011-811-9889

北大アイヌ先住民センター講演会 22日(火)18時〜北大W棟203号室

「現代社会における貧困と社会的排除」先住民研究との接点」阿部彰・国立社会保障・人口問題研究所部長 011-706-2859

原発連の学習講演会 22日(火)18時〜札幌エルプラザ2階研修室(北8西3) 「原発の問題点と自然エネルギー」水島能裕・元北電社員／03000円／011-815-8181

地域医療拡充の学習・交流集会 25日(土)14時〜道民医連会館(北14西3) 「社会保障・税一体改革と地域医療」長友薫輝・三重短大准教授／05000円／011-758-4596

北海道詩人会議 第16回詩のピースウェーブ 26日(日)14時〜道高教組4階大会議室／05000円／0126-25-1016

押部俊広・榎田菊治郎陶芸2人展 新十津川 10月20日(土)〜11月18日(小)なギャラリー絵本館(新十津川・ふるさと公園西) 0125-76-3185

菅間慧一銅版画展 新十津川 20日(内)〜10月18日(小)なギャラリー絵本館(新十津川・ふるさと公園西) 0125-76-3185

北海道社会保障学校in旭川 30日(日)10時〜旭川ときわ市民ホール(5条通4) 記念講演「映像ジャーナリストが見た日本の貧困」水島宏明・法政大教授 特別報告:水島能裕・元北電職員・原発ゼロをめざす旭川連絡会代表幹事/分科会①相談員講座、②自己責任を考える、③国保・後期高齢者医療、④障害者福祉／015000円／011-758-2648

日井連第55回人権擁護大会 プレシンポジウム 9月1日(土)13時30分〜札幌国際ビルホール(北4西4) 「どうなる どうする 北海道の教育」子どもの学習権と教育の自由を、学校現場と憲法から考える。 011-281-2428

平和のうたごえ喫茶 1日(土)13時30分〜札幌清田区民2F／05000円／011-884-2104

後藤純男美術館開館15周年 記念健康づくり講演会 15日(土)18時〜上富良野町社会教育総合センター 「アトで生き生き〜10歳からのメッセージ」日野原重明・聖路加国際記念講演病院理事長/要申込0167-45-6181 (月)金10時〜17時